

「日本河川・流域再生ネットワーク（JRRN）」は、河川再生について共に考え、次の行動へ後押しする未来志向の情報を交換・共有することを通じ、各地域に相応しい河川再生の技術や仕組みづくりの発展に寄与することを目的に活動する団体です。またアジア河川・流域再生ネットワーク(ARRN)の日本窓口として、日本の優れた知見をアジアに向け発信し、海外の素晴らしい取組みを国内に還元する役割を担います。(Since 2006)

目次	Pages
➢ JRRN 事務局からのお知らせ.....	1
➢ 【特集】JRRN の歩みを振り返る.....	3

JRRN 事務局からのお知らせ (1) JRRN Activity Report

令和 8 年度より「日本河川・流域再生ネットワーク」の活動は（公財）リバーフロント研究所が継承して取組めます！ ～定款、理事会、会員制度、ウェブサイト&SNS 廃止のご案内～

「日本河川・流域再生ネットワーク (Japan River Restoration Network: JRRN)」は、2006 年 11 月に日本・中国・韓国の三か国により設立した「アジア河川・流域再生ネットワーク(ARRN)」の日本窓口組織として設立され、約 20 年に渡り任意団体として河川再生に関わる国内活動を展開してきました。

JRRN の事務局は、2006 年の設立から現在まで（公財）リバーフロント研究所が務めてきましたが、2022 年 7 月の「リバーフロントサポートセンター」設立により活動内容の多くが重複することから、両団体の取組みを最適化することで JRRN 及び ARRN の国内外活動を効果的に展開していくための議論を約 3 年に渡り進めてまいりました。

この結果、任意団体として取組んできました「日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN)」の国内外活動を（公財）リバーフロント研究所が継承し今後も展開していくこと、それに伴い JRRN の任意団体としての定款及び理事会を廃止することが JRRN 理事会において決議されました。（JRRN 及び ARRN の団体名は引き続き残ります。）



令和 7 年度 JRRN 臨時理事会の様子(2026.2.17 開催)

JRRN 国内外活動のリバーフロント研究所継承に伴い、令和 7 年度末をもちまして JRRN 会員制度も廃止させて頂くとともに、JRRN/ARRN ウェブサイトの主要コンテンツは以下のページに移動し、4 月以降に現ウェブサイトや SNS を廃止致します。

◆JRRN : <https://www.rfc.or.jp/jrrn.html>

◆ARRN : <https://www.rfc.or.jp/arm.html>

引き続き、（公財）リバーフロント研究所による JRRN 及び ARRN 活動へのご支援・ご協力をよろしくお願い致します。

(JRRN 事務局一同)

<JRRN 代表理事 土屋信行メッセージ>

これまで 20 年にわたり、JRRN の活動を温かく支えてくださった会員の皆様に、心より深く感謝申し上げます。皆様一人ひとりのご理解とご協力があったからこそ、私たちは様々な活動を継続することができました。

「小さな自然再生」研究会と共に取り組んだ活動も全国各地へ広げることができました。現場に根ざした実践やネットワークの積み重ねは、大きな財産であり、今後の基盤となるものです。このたび、これらの活動は（公財）リバーフロント研究所へ移管され、新たな体制のもとで継承・発展していくこととなりました。これまで築いてきた成果と想いを大切にしながら、より一層社会に貢献できる活動へとつなげてまいります。引き続き、変わらぬご支援とご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

JRRN 代表 土屋信行

JRRN 事務局からのお知らせ (2) JRRN Activity Report

小さな自然再生普及促進プロジェクトー今年度開催「小さな自然再生」現地研修会報告書を公開

2025年度(令和7年度)は全4回の「小さな自然再生」現地研修会を開催致しました。

2025年度に開催した現地研修会



各現地研修会について、研修会参加者とともに学び、楽しんだ内容を当日の写真や講演資料を中心にとりまとめた「開催報告書」を作成し公開しましたので、ご案内させていただきます。

■各研修会の開催報告書はこちらから：

<https://www.rfc.or.jp/jrrn.html>

なお、今年度の現地研修会も、公益財団法人河川財団による河川基金の助成を受けて開催させていただきました。研修会開催にご協力頂きました関係団体の皆様に心から御礼申し上げます。

回	上段：開催地 / 下段：共催団体(協力団体)
28	静岡県富士宮市・芝川 NPO 法人ホールアース自然学校 (芝川で小さな自然再生を楽しむ有志の会、公益財団法人リバーフロント研究所)
29	静岡県静岡市清水区・庵原川 いはらの川再生PJ会 (静岡県静岡土木事務所、東海大学海洋学部水棲環境研究会、横砂自治会、静岡市環境局環境共生課、公益財団法人リバーフロント研究所)
30	福井県三方上中郡若狭町・はず川流域 三方五湖自然再生協議会 (福井県、若狭町、日本野鳥の会福井県、三方五湖ラムサールクラブ、公益財団法人リバーフロント研究所)
31	滋賀県内を流れる琵琶湖流入河川 (犬上川、愛知川、野洲川、家棟川) 「小さな自然再生」研究会 (滋賀県立大学環境科学部、滋賀県琵琶湖環境科学研究センター、公益財団法人リバーフロント研究所)

(JRRN 事務局・白尾豪宏)



特集：JRRNの歩みを振り返る



「日本河川・流域再生ネットワーク (Japan River Restoration Network: JRRN)」は2006年11月に設立され、設立から現在まで（公財）リバーフロント研究所が事務局を担ってきました。

本誌1ページ目でご案内の通り、2026年3月末に日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN)の理事会及び定款を廃止し、JRRNによる国内外活動は（公財）リバーフロント研究所が継承することとなりました。引き続き、リバーフロント研究所による国内外活動を通じて、次の行動へ後押しする未来志向の情報を発信しながら、各地域に相応しい河川再生の技術や仕組みづくりの発展に貢献してまいります。

本特集では、2006年11月のJRRN設立から2026年3月までの約20年弱の主な活動の歩みをご紹介します。

【1】設立経緯

2003年3月に京都・滋賀・大阪で開催された「第3回世界水フォーラム」内の分科会「流域における自然との共生と順応的管理による川の自然再生」において、水辺環境に関わるアジアでの情報ネットワークの必要性が提起されました。この提案を受け、（公財）リバーフロント研究所の前身である（財）リバーフロント整備センター内に設立に向けた検討会が設置され、約3年間に渡りネットワークのあり方について議論が重ねられました。

「第4回世界水フォーラム」（2006年3月）では、日中韓（日本：国土交通省河川局、中国：水利部、韓国：建設交通部）が水問題解決に向けた取組みとして3国の共通課題である「洪水管理」、「水資源情報システム」、「アジア・モンスーン地域における河川再生」の3セッションを初めて共催し、3国の協力関係強化を確認しました。また、この「アジア・モンスーン地域の河川再生」をテーマとする分科会では、以下の6つの提言が示されました。

- 河川の再生は、治水や利水と同じく、人類の存続に不可欠である。
- 河川の管理は、変動と攪乱によって形成される「流域」を基本単位とする。
- アジア・モンスーン地域に相応しい河川再生の方法論を確立することが必要である。その際には、高い人口密度、頻発する水災害、豊かな水田などアジアの特徴を考慮する。
- アジアの歴史・文化的土壌として人間活動と自然との調和があり、長年の人間活動により形成された風土は、文化と同様に自然にとっても重要である。
- 河川の再生は、多岐の学問分野と組織の力で成し遂げられる。それ故、河川再生に関わる優れた事例や専門情報を、アジアの河川に関わる実務者・環境科学者・生態学者・水資源管理者そして市民で共有する仕組みが不可欠である。
- 類似した自然・社会環境を保有するアジア・モンスーン地域として、河川再生の技術指針を構築することが緊急の課題である。

この提言の具現化を目的に、日中韓が「アジア河川・流域再生ネットワーク (Asian River Restoration Network: ARRAN)」を2006年11月に設立し、同時に日本はARRAN窓口機関として日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN)が設立されました。

【2】活動内容

国内向けには、川づくりに関わる情報共有ツール（ウェブサイト、刊行物等）の整備や、多様なセクターを交えた講演会や研修行事等を開催してきました。また、アジアに向けては、毎年開催するARRN国際フォーラムや海外技術視察団の来日支援等を通じて日本が培った川づくりの経験を普及しております。

■ネットワークの拡大

河川再生に関心を持つ人々を増やします。また、これまで河川再生の中心的役割を担ってきた行政関係者や実務者のみならず、個人や市民団体、企業等が再生の取り組みに参画できる仕組みをつくります。

■情報の循環

ネットワーク参加者が、河川再生に関する情報を提供し、それを必要とする人々に平等に行き渡らせ、受け取ることのできる仕組みをつくり、参加者の知識・技術の向上を図ります。また、ここで循環する情報を、体系整理して蓄積します。

■コミュニティの構築

河川再生に関わる個人・組織が自由に交流できる人の繋がりを築きます。また人々が各々の立場でネットワークに関与し、協働して河川再生に取り組むことができる場を提供します。

■イベント企画・開催

河川再生に関する意識が広く人々の間で醸成され、またその価値が再認識されるよう、多様なイベントを企画・開催します。また、この機会を通し、ネットワーク活動の活性化を図ります。

■アジアの国々・地域との連携

ARRNの日本窓口として、中国、韓国をはじめとするアジアモンスーン地域との連携を深め、河川再生に関する情報や、各国のネットワーク運営に関する課題・解決策を相互に共有できる仕組みをつくります。

(1) 情報共有基盤の整備	(2) 川づくりの人材育成	(3) 国際交流
<ul style="list-style-type: none"> ・情報共有基盤とツールの整備。 ・川への関心向上機会の創出。 	<ul style="list-style-type: none"> ・講演会や技術交流行事の開催。 ・研修会での担い手支援。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国際交流行事の開催・参加。 ・来日視察団の受入支援。
<ul style="list-style-type: none"> ◆メルマガ配信（毎週・1000号で廃止） ◆ニューズレター発行（毎月・隔月・200号で廃止） ◆ウェブサイト運営 ◆facebook運営 ◆事例集や報告書等の冊子発行 	 	 
 		

(1) 情報共有基盤の整備

1-1 JRRN の情報共有媒体

JRRN が運営してきた主な情報媒体

情報媒体	名称	開始年月	更新頻度
ウェブサイト	JRRN ホームページ (日本語)	2006.11	不定期
	JRRN ホームページ (英語)	2007.10	不定期
	ARRN ホームページ (英語)	2006.11	不定期
	小さな自然再生ホームページ	2016.3	不定期
facebook	JRRN	2014.1	不定期
	小さな自然再生	2016.2	不定期
	桜のある水辺風景	2016.3	不定期
メルマガ	JRRN ニュースメール	2006.12	隔週配信
月刊誌	JRRN ニュースレター	2006.12	隔月発行
YouTube	JRRN 公式 YouTube	2018.4	不定期
Instagram	JRRN 公式 Instagram	2021.3	不定期

👉 JRRN ニュースレターの全バックナンバーは、以下ページ内『📄発行物 📺 JRRN ニュースレター』より御覧頂けます。

⇒ <https://www.rfc.or.jp/jrrn.html>

1-2 JRRN の刊行物

JRRN の主な刊行物

発行年月	名称
2009.4	アジアに適應した河川環境再生の手引き ver.1 ※河川基金助成金
2010.6	桜のある水辺風景 2010 写真集
2011.3	よみがえる川～日本と世界の河川再生事例集～ ※河川基金助成金
2012.6	桜のある水辺風景 2011 写真集
2012.2	アジアに適應した河川環境再生の手引き ver.2 ※河川基金助成金
2012.6	桜のある水辺風景 2012 写真集
2012.6	PRAGMO 日本語版 河川及び氾濫原再生の順応的管理に向けたモニタリングの手引き ※河川基金助成金
2013.2	川を活かす・守る～河川再生事例集～ ※宝くじ助成金
2013.6	桜のある水辺風景 2013 写真集
2014.3	河川モニタリング活動事例集～できることからはじめよう～市民による河川環境の評価～ ※河川基金助成金
2014.7	桜のある水辺風景 2014 写真集
2015.3	できることからはじめよう 水辺の小さな自然再生事例集 ※河川基金助成金
2015.6	桜のある水辺風景 2015 写真集
2016.6	桜のある水辺風景 2016 写真集
2017.6	桜のある水辺風景 2017 写真集
2018.6	桜のある水辺風景 2018 写真集
2019.7	桜のある水辺風景 2019 写真集
2020.3	できることからはじめよう 水辺の小さな自然再生事例集 第2集 ※河川基金助成金
2024.8	「はじめての魚の居場所づくり vol.2 ※河川基金助成金



JRRN の主な刊行物

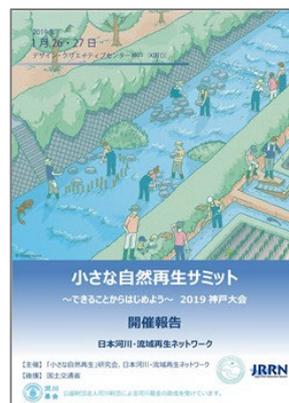
👉 JRRN の刊行物のバックナンバーは、以下ページ内『刊行物（事例集や手引き類）』より御覧頂けます。
⇒ <https://www.rfc.or.jp/jrrn.html>

1-3 JRRN の講演録及び研修会報告

JRRN の主な講演録及び研修会報告

発行年月	名称
2010.6	第 4 回 JRRN 河川環境ミニ講座講演録
2010.7	第 5 回 JRRN 河川環境ミニ講座講演録
2010.11	第 6 回 JRRN 河川環境ミニ講座講演録
2011.5	第 7 回 JRRN 河川環境ミニ講座講演録
2011.10	第 8 回 JRRN 河川環境ミニ講座講演録
2011.12	第 8 回水辺・流域再生国際フォーラム講演録
2012.1	第 9 回 JRRN 河川環境ミニ講座講演録
2013.2	講演会「市民による河川環境の見かた・調べかた-英国 PRAGMO に学ぶ」講演録
2014.3	JRRN 初春の都心の舟めぐり 開催報告
2015.10	第 1 回小さな自然再生現地研修会@豊田・岩本川 開催報告
2015.12	第 2 回小さな自然再生現地研修会@滋賀・高時川 開催報告
2016.2	小さな自然再生が中小河川を救う！ IV 講演録
2016.3	「河川技術が果たすイノベーションと社会貢献」国際シンポジウム講演録
2017.1	第 3 回小さな自然再生現地研修会@福岡・上西郷川 開催報告
2017.2	第 4 回小さな自然再生現地研修会@兵庫・武庫川 開催報告
2017.3	小さな自然再生が中小河川を救う！ V 講演録
2017.3	第 5 回小さな自然再生現地研修会@千葉・神崎川 開催報告

2018.2	第6回小さな自然再生現地研修会@福井・九頭竜川 開催報告
2018.3	第7回小さな自然再生現地研修会@岡山・吉井川 開催報告
2018.3	第8回小さな自然再生現地研修会@秋田・斉内川 開催報告
2019.2	小さな自然再生サミット～できることからはじめよう～ 2019 神戸大会 開催報告
2021.3	第9回小さな自然再生現地研修会@愛知・矢田川 開催報告
2021.3	第10回小さな自然再生現地研修会@秋田・斉内川 開催報告
2021.3	第11回小さな自然再生現地研修会@京都・美山川 開催報告
2022.3	第12回小さな自然再生現地研修会@東京・善福寺川 開催報告
2022.3	第13回小さな自然再生現地研修会@滋賀・大川 開催報告
2022.3	第14回小さな自然再生現地研修会@北海道・釧路川 開催報告
2023.3	第15回 小さな自然再生現地研修会@徳島県神山町・鮎喰川 開催報告
2023.3	第16回 小さな自然再生現地研修会@京都府宮津市・大手川 開催報告
2023.3	第17回 小さな自然再生現地研修会@茨城県土浦市・霞ヶ浦 開催報告
2024.1	第18回 小さな自然再生現地研修会@岡山県和気町・日笠川 開催報告
2024.1	第19回 小さな自然再生現地研修会@滋賀県長浜市・米川 開催報告
2024.3	第20回 小さな自然再生現地研修会@新潟県魚沼市・只見川水系北ノ又川 開催報告
2024.3	第21回 小さな自然再生現地研修会@兵庫県豊岡市・出石川 開催報告
2024.3	第22回 小さな自然再生現地研修会@滋賀県東近江市・愛知川流域農業排水路 開催報告
2025.3	第23回 小さな自然再生現地研修会@福井県若狭町・北川流域河内川 開催報告
2025.3	第24回 小さな自然再生現地研修会@新潟県新発田市・古太田川 開催報告
2025.3	第25回 小さな自然再生現地研修会@滋賀県長浜市・大浦川 開催報告
2025.3	第26回 小さな自然再生現地研修会@兵庫県上郡町・千種川 開催報告
2025.3	第27回 小さな自然再生現地研修会@長野県長野市・千曲川流域 開催報告
2026.3	第28回 小さな自然再生現地研修会@静岡県富士宮市・芝川 開催報告
2026.3	第29回 小さな自然再生現地研修会@静岡県静岡市清水区・庵原川 開催報告
2026.3	第30回 小さな自然再生現地研修会@福井県三方上中郡若狭町・はず川 開催報告
2026.3	第31回 小さな自然再生現地研修会@滋賀県内・琵琶湖流入河川 開催報告



👉 JRRN の講演録及び研修会報告のバックナンバーは、以下ページ内『📄開催行事報告書 📄【講演行事 講演録】』及び『📄開催行事報告書 📄【「小さな自然再生」現地研修会 開催報告書】』より御覧頂けます。

⇒ <https://www.rfc.or.jp/jrrn.html>

(2) 川づくりの人材育成

2-1 講演会等の開催 (国内)

JRRN 主催・共催の主な講演会等の国内行事

開催年月	名称
2007.10	講演会「川からの都市再生～台湾・高雄市の事例 愛河」
2008.1	河川再生に関わるミニワークショップ「中国の河川再生と河川環境保全」
2008.7	第 1 回 JRRN 河川環境ミニ講座「環境流況～流水の正常な機能の維持に向けて～」
2008.12	第 2 回 JRRN 河川環境ミニ講座「韓国安養川等の都市河川再生」
2009.5	第 3 回 JRRN 河川環境ミニ講座「環境流量からみえるアジアの風土性」
2010.2	第 4 回 JRRN 河川環境ミニ講座「川づくりと住民参画の目的、河川環境と治水、防災の接点」
2010.5	第 5 回 JRRN 河川環境ミニ講座「流域連携による河川再生:イギリス・マージ川流域キャンペーン」
2010.9	第 6 回 JRRN 河川環境ミニ講座「中国の挑戦:気候変動下の洪水、干ばつ、水質汚染に向けて」
2010.12	第 7 回 JRRN 河川環境ミニ講座「台湾の河川事情～台風被災からの教訓と治水対策」
2011.8	第 8 回 JRRN 河川環境ミニ講座「韓国と日本の魚道整備」
2011.12	第 9 回 JRRN 河川環境ミニ講座「中国における河川生態系の変化と自然再生の動向」
2014.3	初春の都心の舟めぐり～2020 年の東京の川の話をしよう (船上座談会) ～
2014.11	「小さな自然再生」事例集制作座談会～更なる推進に向けた方策を探る～
2015.9	応用生態工学会第 19 回郡山大会 自由集会「小さな自然再生が中小河川を救う! IV」
2016.9	応用生態工学会第 20 回大会 自由集会「小さな自然再生が中小河川を救う! V」
2019.1	第 1 回小さな自然再生サミット 2019 神戸大会～できることからはじめよう～
2019.1	講習会～iRIC で学ぶ川の流れ (初級) ～
2019.9	応用生態工学会第 22 回全国大会 自由集会「小さな自然再生が中小河川を救う! VI リターンズ」



第 3 回ミニ講座



第 5 回ミニ講座



都心の舟めぐり



小さな自然再生座談会



小さな自然再生サミット



小さな自然再生自由集会

2-2 研修行事の開催

JRRN 主催の研修行事（「小さな自然再生」現地研修会）

回	開催日・開催場所	(上段) 共催団体 / (下段) テーマ
1	2015年9月8日 愛知県豊田市・岩本川	豊田市矢作川研究所 岩本川でできる小さな自然再生を考える
2	2015年12月17日 滋賀県長浜市・高時川	滋賀県 瀬切れ時の水棲生物の避難場所を創出するための川づくり
3	2016年7月29日 福岡県福津市・上西郷川	上西郷川日本一の郷川をめざす会 間伐材水制による瀬淵環境の再生
4	2016年10月28日 兵庫県宝塚市・武庫川	兵庫県県土整備部土木局武庫川総合治水室 魚類の生息・遡上環境の改善～ウナギ石組や落差工対策
5	2016年12月8日 千葉県白井市・神崎川	神崎川を守るしろい八幡溜の会、白井市 西白井・神崎川上流部を地域資源として効果的に活用するには？
6	2017年10月17日 福井県福井市・日野川/志津川	国土交通省近畿地方整備局福井河川国道事務所、福井県 魚類の遡上環境の改善 ～九頭竜川流域の連続性確保に向けて～
7	2017年12月6-7日 岡山県西粟倉村・吉井川流域	エーゼロ株式会社、応用生態工学会（大阪地区会、岡山地区会） 吉井川のつながりを取り戻すには小さな自然再生で何かできるか？
8	2018年2月27日 秋田県大仙市・斉内川	秋田県建設部河川砂防課 道の駅と直結した水辺の小さな自然再生と地域の賑わい創出
9	2020年11月13日 愛知県名古屋市中区・矢田川	愛知県建設局河川砂防課、矢田・庄内川をきれいにする会 事前モニタリングで学ぶ土砂移動（河道内地形）
10	2020年11月24日 秋田県大仙市・斉内川	(公社) 全国土木コンクリートブロック協会東北地区協議会秋田県支部 多自然をモニタリングする
11	2020年11月28日 京都府美山町・美山川	NPO 法人芦生自然学校 森と川をつながり考える
12	2021年11月14日 東京都中野区・善福寺川	青少年育成鍋横地区委員会 “なべよこ善福寺川探検隊” 自然観察から都市河川でできることを考えよう
13	2021年11月21日 滋賀県守山市・大川	淡海を守る釣り人の会 河口部・内湖の保全と再生を考える
14	2021年11月28日 北海道釧路市・釧路川	釧路自然保護協会 釧路川支川の魚類生息環境を再生する
15	2022年9月10-11日 徳島県神山町・鮎喰川	一般社団法人神山つなぐ公社 小さな自然再生のワクワクで地域と川をつなげよう
16 ～ 31	2022年～2025年	第16回～第31回小さな自然再生現地研修会の開催



2021年度に開催した「小さな自然再生」現地研修会の様子（第12回～14回）

技術向上の場づくり ～「小さな自然再生」現地研修会～

目的

本研修会は、小さな自然再生の考え方、留意点、現場の工夫等を、実際の現場での活動に参加しながら学び、研修参加者の知識と技術の向上及び本分野の知見を蓄積することを目的としています。合わせて、本研修を通じ、研修受入先や研修参加者と技術交流を深め、小さな自然再生に関わる情報交換と交流のコミュニティ醸成も図ります。

研修内容

現地研修会は以下①～④のプログラムを組み合わせで開催します

研修内容①：座学研修

「小さな自然再生」の基本知識や現場での留意点等に関して、経験豊富な多方面の講師より学び合います。



現場を歩きながら、川の特徴や課題、実施可能な小さな自然再生の取組やその進め方について学び合います。

研修内容②：現地調査



研修内容③：ワークショップ

課題（テーマ）に対して、現地の状況を踏まえ、各グループで小さな自然再生のアイデアを交換しながら最適案を議論します。



河川管理者の協力が得られれば、現地実習として、参加者による「小さな自然再生」の施工を実践します。

研修内容④：現地実習



「小さな自然再生」現地研修会 開催地位置図 (2015～2024年度)

福井県福井市・九頭竜川流域志津川 (第6回)

テーマ：魚種の遡上環境の改善～九頭竜川流域の遡上性確保に向けて～

滋賀県長浜市・琵琶湖流域大浦川 (第25回)

テーマ：ピラミッドを設置して地域を盛り上げよう

滋賀県長浜市・米川 (第19回)

テーマ：長浜市の中心で考える「ウオーカブルな米川」の未来像

滋賀県長浜市・高時川 (第2回)

テーマ：瀬切れ時の水生生物の避難場所を創出するための川づくり

京都府宮津市・大手川 (第16回)

テーマ：フナの里作り：自然と親しい空間を復活せよう

京都府南丹市・美山川 (第11回)

テーマ：森と川のつながりを考える

兵庫県豊岡市・出石川 (第21回)

テーマ：できることから始めよう：魚がすみやすい川づくり

岡山県西粟倉村・吉井川 (第7回)

テーマ：吉井川のつながりを取り戻すには小さな自然再生で何かできるか？

兵庫県上郡町・千種川 (第26回)

テーマ：小さな自然再生でかつての千種川を取り戻そう

福岡県福津市・上西郷川 (第3回)

テーマ：間伐材が主による清流環境の再生

岡山県和気町・日笠川 (第18回)

テーマ：100年後も生きものいっしょ！日笠川

徳島県神山町・鮎喰川 (第15回)

テーマ：小さな自然再生のノウハウで地域と川をつなげよう

兵庫県西宮市・武庫川 (第4回)

テーマ：魚種の生息・遡上環境の改善

滋賀県守山市・大川 (第13回)

テーマ：河口部・内湖の保全と再生を考える

福井県若狭町・北川流域河内川 (第23回)

テーマ：地域力による北川サクラマス復活プロジェクト～誠しに魚道をつくらせよう～

滋賀県東近江市・愛知川流域 (第22回)

テーマ：民間企業が担う小さな自然再生を考える

北海道釧路市・釧路川 (第14回)

テーマ：釧路川(支川)の魚類生息環境を再生する

秋田県大仙市・斉内川 (第8回)

テーマ：道の駅と直結した水辺の小さな自然再生と地域の賑わい創出

秋田県大仙市・斉内川 (第10回)

テーマ：多自然をモニタリングする

新潟県新発田市・古太田川 (第24回)

テーマ：生き物の目線から古太田川の魅力を探ってみよう

新潟県魚沼市・只見川 (第20回)

テーマ：バーブで宮ノ瀨を復活させよう！

長野県長野市・千曲川流域 (第27回)

テーマ：小さな流域治水：休耕田から地域を盛り上げよう

茨城県土浦市・霞ヶ浦 (第17回)

テーマ：浄化施設と水路と湖をつなぐ魚の道のりをつくらせよう

千葉県白井市・神崎川 (第5回)

テーマ：神崎川上流部を地域資源として効果的に活用するには？

東京都中野区・善福寺川 (第12回)

テーマ：自然観察から都市河川でできることを考えよう

愛知県豊田市・岩本川 (第1回)

テーマ：岩本川でできる小さな自然再生を考える

愛知県名古屋市中区・矢田川 (第9回)

テーマ：事前モニタリングで学ぶ土砂移動 (河内内地形)

「小さな自然再生」現地研修会の概要紹介 (地図は2024年度までの開催地)

2-3 桜のある水辺風景

桜のある水辺風景 開催実績

開催年度	名称	応募人数	応募作品数	備考
2010年	桜のある水辺風景 2010	9	23	
2011年	桜のある水辺風景 2011	15	30	
2012年	桜のある水辺風景 2012	17	41	
2013年	桜のある水辺風景 2013	17	46	
2014年	桜のある水辺風景 2014	24	55	優秀作品選考開始
2015年	桜のある水辺風景 2015	17	51	優秀作品選考
2016年	桜のある水辺風景 2016	20	52	Facebook 開設
2017年	桜のある水辺風景 2017	128	292	Facebook 募集開始
2018年	桜のある水辺風景 2018	26	49	同上
2019年	桜のある水辺風景 2019	37	62	同上
2020年	桜のある水辺風景 2020	-	-	新型コロナウイルス感染拡大のため中止
2021年	桜のある水辺風景 2021	-	-	Instagram での募集開始
2022年	桜のある水辺風景 2022	-	-	同上、優秀作品選考
2023年	桜のある水辺風景 2023	-	-	同上
2024年	桜のある水辺風景 2024	-	-	同上
2025年	桜のある水辺風景 2025	-	-	同上

JRRN 日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN) 企画
桜のある水辺風景 2010
 ~あなたの一枚を待っています~

企画趣意
 桜の美しい季節を迎えようとしています。JRRNでは、水辺の美しい人々の関わりについて考える機会を創出することを目的に、JRRN会費より2010年に開催された「桜のある水辺風景」を再編集し、それらを書籍にご紹介するにあたり、JRRNの今後の活動に貢献していただける方を募集しています。本誌を通じて、日本の魅力を再認識していただくべく、美しい桜のある水辺風景をお待ちしております。

応募方法
 ①応募資格
 ②応募作品
 ③応募方法
 ④応募期間
 ⑤お問い合わせ

JRRN 日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN) 企画
桜のある水辺風景 2015
 ~あなたの一枚 写真大募集~

桜の美しい季節を迎えようとしています。JRRNでは、今年も桜より2015年に開催された「桜のある水辺風景」を再編集し、それらを書籍にご紹介して頂きます。本誌から次年度まで、日本の魅力を再認識していただくべく、美しい桜のある水辺風景をお待ちしております。

募集期間
 5月31日(日)まで

桜のある水辺風景 2020

01 テーマ
 02 応募方法
 03 応募先
 04 応募作品について

締切：2020年5月17日(日)
 主催：JRRN

「#桜のある水辺風景2021」 Instagramはじめました。

○応募資格：下記応募方法に従い、以下の条件を満たす方であればどなたでもご応募いただけます。
 ①下記作品規定に同意して頂いた方
 ②Instagramのアカウントを保有し、公開設定して頂いた方
 ※Instagramアカウントをお持ちでない方は、アカウントを作成してご応募ください。アカウント作成にあたっては個人情報保護法に基づき、必ず同意が必要となります。

○作品規定：ご本人が撮影したデジタル写真のみとする。撮影の目的や、ウェブサイト等で使用される場合がある個人が特定できる画像を含む場合は被写体の方の了承を得る。

○応募方法：以下の手順に従って、ご応募ください。
 ①Instagramで「jrrn01」(QRコード)をフォロー
 ②スマートフォン、デジタルカメラで水辺の桜風景を撮影
 ③ハッシュタグ「#桜のある水辺風景2021」をつけて投稿

○応募期間：2021年3月29日(月) ~ 2021年5月9日(月)

○表：最優秀賞、優秀賞を決定し、発行物、ウェブサイト等の広報媒体により、全国に積極的に広報します。選定にあたっては必ずご同意をいただきます。

○問合せ先：〒104-0033 東京都中央区新富1丁目17番24号 (公財) リバフロント研究所内 日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN) 事務局 担当：阿部 (Eメール: info@jrrn.net)

#桜のある水辺風景2022

○応募資格
 以下の応募方法に従って以下の条件を満たす方などでもご応募いただけます。
 ①下記作品規定に同意して頂いた方
 ②Instagramのアカウントを保有し、公開設定して頂いた方
 ※Instagramアカウントをお持ちでない方は、アカウントを作成してご応募ください。

○作品規定
 ご本人が撮影したデジタル写真のみ。個人が特定できる人物画像が含まれる場合は被写体の方の了承を得てください。

○応募方法
 以下の手順に従って、ご応募ください。
 ①Instagramで「jrrn01」をフォロー
 ②スマートフォン、デジタルカメラで水辺の桜風景を撮影
 ③ハッシュタグ「#桜のある水辺風景2022」をつけてInstagramに投稿

○応募期間
 2022年3月28日(月) ~ 2022年5月9日(月)

○問合せ先
 〒104-0033 東京都中央区新富1丁目17番24号 (公財) リバフロント研究所内 日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN) 事務局 担当：阿部・後藤 (Eメール: info@jrrn.net)

「桜のある水辺風景2022」結果発表

5月9日に締め切りました。「桜のある水辺風景2022」には多くの応募がありました。この度、JRRN事務局より、最優秀賞・優秀賞を決定し、発行物・ウェブサイト等の広報媒体により、全国に積極的に広報いたします。

最優秀賞：@sayuho33326 (2枚目)
 @sayuho33326

優秀賞：@nao_hn (3枚目)
 @nao_hn

最優秀賞、優秀賞の方へは事務局とともに撮影を振り返らせていただきました。素晴らしい作品を応募していただきありがとうございます。「いいね」を押し続けていただくと、本誌に紹介させていただきます。皆様よりご応募いただいたプログラムへお礼申し上げます。JRRN事務局の方をはじめ、ご賞状の届いた皆様へお礼申し上げます。賞状の届いた皆様へお礼申し上げます。Instagramでの投稿もお待ちしております。是非、「チェック」「フォロー」「いいね」をよろしくお願いいたします。 https://www.instagram.com/jrrn01/

「桜のある水辺風景」応募チラシ及び優秀作品選考結果発表

桜のある水辺風景写真集のバックナンバーは、以下ページ内『開催行事報告書【桜のある水辺風景 応募写真集】』より御覧頂けます。 ⇒ <https://www.rfc.or.jp/jrrn.html>

(3) 国際交流

3-1 国際フォーラム等の国際行事の開催

JRRN/ARRN 主催・共催の主な国際行事

開催年月	行事名	開催地	備考
2005.1	第1回 ARRN 水辺・流域再生国際フォーラム	東京	ARRN 設立前準備会
2005.10	第2回 ARRN 水辺・流域再生国際フォーラム	東京	ARRN 設立前準備会
2006.11	第3回 ARRN 水辺・流域再生国際フォーラム	東京	ARRN 設立式典併催
2007.11	第4回 ARRN 水辺・流域再生国際フォーラム	東京	
2008.9	シンポジウム「河川環境講演会～海外における環境水工学の最新の研究紹介」	東京	
2008.11	第5回 ARRN 水辺・流域再生国際フォーラム	北京	第4回 APHW 分科会
2009.9	第6回 ARRN 水辺・流域再生国際フォーラム	ソウル	第5回 KICT ワークショップ 分科会
2010.9	第7回 ARRN 水辺・流域再生国際フォーラム	ソウル	ISE2010 分科会
2010.9	アジアの河川再生技術共有に向けたラウンドテーブル	ソウル	
2011.11	第8回 ARRN 水辺・流域再生国際フォーラム	東京	
2012.11	第9回 ARRN 水辺・流域再生国際フォーラム	北京	
2012.12	シンポジウム「市民による河川環境の見かた・調べかた～英国『PRAGMO』に学ぶ～」	東京	
2013.9	第10回 ARRN 水辺・流域再生国際フォーラム	成都	第35回 IAHR 大会 分科会
2014.10	第11回 ARRN 水辺・流域再生国際フォーラム	ウィーン	第5回欧州河川再生会議 分科会
2015.4	第12回 ARRN 水辺・流域再生国際フォーラム	慶州	第7回世界水フォーラム 分科会
2015.9	第18回国際河川シンポジウム「アジアの河川再生」	ブリスベン	国際河川シンポジウム
2016.8	第13回 ARRN 水辺・流域再生国際フォーラム	仁川	HIC2016 分科会
2017.8	第14回 ARRN 水辺・流域再生国際フォーラム	マレーシア	第37回 IAHR 世界会議 分科会
2017.9	セッション「アジアの水問題—気候変動と河川再生」	慶州	
2017.2	シンポジウム「不確実性を増す気候および環境ストレス下での河川流域管理」	東京	
2018.8	第15回 ARRN 水辺・流域再生国際フォーラム	東京	第12回生態水理学国際シンポ 分科会
2019.10	第16回 ARRN 水辺・流域再生国際フォーラム	ブリスベン	第22回国際河川シンポジウム 分科会
2021.11	第17回 ARRN 水辺・流域再生国際フォーラム	(オンライン)	オンライン形式での開催
2022.12	第18回 ARRN 水辺・流域再生国際フォーラム	(オンライン)	オンライン形式での開催
2023.11	第19回 ARRN 水辺・流域再生国際フォーラム	湖北省	
2024.9	第20回 ARRN 水辺・流域再生国際フォーラム	北京	第3回アジア国際水週間
2025.9	第21回 ARRN 水辺・流域再生国際フォーラム	ブリスベン	国際河川シンポジウム



第3回 ARRN 国際フォーラム



第12回 ARRN 国際フォーラム



第16回 ARRN 国際フォーラム

👉 ARRN 国際フォーラムの開催概要は、以下ページ内『6. ARRN Activity Reports』より御覧頂けます。(英語)
⇒ <https://www.rfc.or.jp/arrn.html>

3-2 海外視察団の受入れ支援

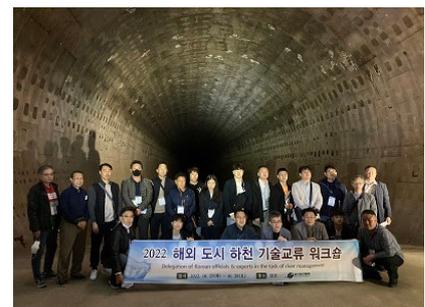
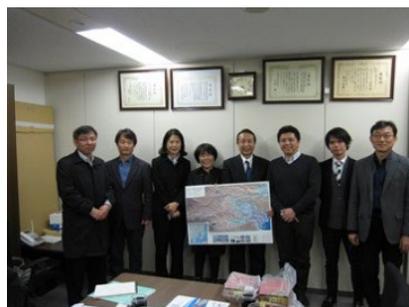
海外視察団との技術交流実績 (1/2)

No	年月	国・地域	海外支援先	内容	国内受入（協力）先
1	2007.11	韓国	東豆川市（政府・4名）	河川環境改善の取り組みの情報提供	
2	2007.12	韓国	韓国水団体総連合会（大学/研究員・6名）	河川における表示や利用、情報提供などの情報提供	
3	2008.5	韓国	水生生態復元事業団（大学・6名）	河川再生に関連する政策、研究、事業などの情報提供	
4	2008.6	韓国	韓国河川協会（会員・41名）	治水事業、河川環境再生の現地視察	加賀市、石川県土木部、小松・加賀水郷再生協議会
5	2008.7	韓国	健やかな道林川をつくる市民の会（大学/NGO・14名）	河川環境行政の歴史や市民連携に関わる情報提供	
6	2008.11	台湾	環境保護署（政府・2名）	都市の水環境改善の情報提供、現地視察	国土交通省江戸川河川事務所、東京都下水道局
7	2009.2	香港	香港特別行政区土木開発部（政府・10名）	都市部水辺再生の情報提供、現地視察	東京都建設局
8	2009.5	パキスタン	政府・自治体職員（政府・3名）	河川再生の歩みや事例の情報提供、現地視察（JICA 研修）	J I C A
9	2009.6	韓国	韓国河川協会（会員・53名）	河川改修、治水事業、河川環境の現地視察	北海道開発局石狩川開発建設部、石狩川振興財団、札幌市
10	2009.7	台湾	經濟部水利署（政府・4名）	河川環境改善に向けた取り組みの情報提供	
11	2009.11	中国	湖北省水利庁（政府・7名）	水資源及び河川管理全般に関わる情報提供、現場視察	国土交通省江戸川河川事務所、足立区
12	2009.11	中国	大連理工大学（大学・2名）	都市の水問題、水循環、自然環境保全等の情報提供	
13	2009.12	韓国	建設技術研究院（研究機関・2名）	河川環境再生事業に関する情報提供、現場視察	
14	2010.6	中国	遼寧省大連市水務局（政府/大学・13名）	日本の河川整備の歩みや最近の動向の情報提供	
15	2010.7	韓国	未来資源研究院（研究機関・1名）	河川再生や異常気象への取り組みの情報提供	
16	2010.8	台湾	川と街づくり視察団（大学/NGO・40名）	河川環境再生や水辺からのまちづくりの情報提供	
17	2010.10	台湾	屏東県政府（政府・20名）	河川整備全般に関わる情報提供	
18	2011.1	中国	湖北省水利庁（政府・8名）	河川・水環境管理全般に関わる情報提供、現場視察	国土交通省江戸川河川事務所、足立区、日本河川協会、東京都
19	2011.5	アジア	世界銀行 途上国自治体職員	「都市部水辺の再開発」に関わる世界銀行研修担当	横浜市
20	2011.8	台湾	市民大学全国促進会（大学/NGO・20名）	市民による川づくりや合意形成について情報提供	

海外視察団との技術交流実績 (2/2)

No	年月	国・地域	海外支援先	内容	国内受入(協力)先
21	2012.3	台湾	高雄市政府 (政府・35名)	総合治水対策や地域住民協働の河川管理の現地視察	国土交通省京浜河川事務所
22	2012.3	韓国	未来資源研究院 (研究機関・2名)	河川再生全般に関わる法制度や施策の変遷の情報提供	
23	2012.11	フィリピン	イロイロ市 (政府/NGO・8名)	都市河川の環境再生の情報提供、現地視察(JICA研修)	JICA 横浜市港北区
24	2012.12	マレーシア	天然資源環境省排水灌漑局 (政府/NGO・25名)	都市河川再生や市民連携に関わる情報提供、現場視察	国土交通省、国総研 東京都、埼玉県 土木研究所
25	2013.2	香港	香港特別行政区政府渠務署 (政府・7名)	治水と両立した都市の水辺再生、水質改善、地域活性化の情報提供、現地視察	東京都建設局 埼玉県総合治水事務所 (独)都市再生機構
26	2015.3	韓国	建設技術研究院 (研究機関・3名)	都市河川再生に関わる情報提供、現場視察	横浜市
27	2016.2	韓国	国土環境研究所 (NGO・5名)	アオコ対策、河川市民連携、水源管理等の情報提供	全日本水道労働組合
28	2016.5	香港	香港特別行政区政府渠務署 (政府・4名)	異常気象対策、及び治水と両立した河川環境改善現地視察	東京都建設局・港湾局 国交省江戸川・荒川下流
29	2017.12	香港	香港特別行政区政府渠務署 (政府・2名)	治水と両立した河川環境改善現地視察	江戸川区
30	2018.8	台湾	台中市政府水利局 (政府・6名)	都市河川再生をテーマに、治水と環境の両立事例を視察	東京都第二建設事務所
31	2018.8	香港	Kadoorie Farm and Botanic Garden (NGO・2名)	都市部を流れる河川の環境に配慮した川づくり全般の現地視察	
32	2018.9	香港	香港特別行政区政府渠務署 (政府・5名)	首都・東京の高潮対策や洪水対策の経験を学ぶ現地視察	東京港建設事務所高潮対策センター、東京都建設局
33	2020.1	香港	香港特別行政区政府渠務署 (政府・5名)	首都圏の高潮・洪水対策及び河川環境改善を学ぶ現地視察	江戸川管理事務所、江戸川区、東京都建設局、東京都港湾局
34	2020.2	台湾	台北大学都市計画研究所(大学・1名)	都市河川再生に関わる日本の経験を学ぶ現地視察	
35	2022.10	韓国	韓国河川協会 (自治体・18名、河川協会・5名)	治水、水資源、親水、河川環境の現地視察	東京都建設局
36	2023.10	韓国	韓国河川協会 (自治体・14名、河川協会・3名)	治水、水資源、親水、河川環境の現地視察	大阪府、国交省淀川河川/琵琶湖河川/北陸地整

※2023年度以降～現在は「リバフサポートセンター」として海外視察団を受入へ



3-3 国際会議の参加・発表(ARRN 国際フォーラム以外)

国際会議の参加・発表実績

開催年月	行事名	開催地
2007.10	第3回東南アジア水フォーラム	クアラルンプール
2008.2	第3回アジア河川流域機関ネットワーク NARBO 総会	シヨグヅヤカク
2008.11	第4回 アジア・太平洋水文水資源協会 APHW 国際会議	中国・北京
2009.3	第5回世界水フォーラム	イスタンブール
2009.8	世界都市水フォーラム WCWF2009	韓国・仁川
2010.9	第8回生態水工学国際シンポジウム ISE2010	韓国・ソウル
2010.10	第13回国際河川シンポジウム	パース
2012.5	第1回フィリピン国際河川サミット	イロイロ
2012.9	マレーシア河川フォーラム	プトラジャヤ
2014.12	オランダ北ホラント州・水のイノベーション会議	アムステルダム
2017.11	パブリックフォーラム：アジアの都市河川再生～挑戦と好機	香港
2019.7	水の持続性に関する国際シンポジウム	香港
2019.12	台中市・河川再生シンポジウム	台中
2021.10	Water Seoul 2021 ～Cities for Climate Resilience 国際シンポジウム	オンライン
2023.4	韓国河川協会主催「2023 河川管理ワークショップ」	韓国・済州島



ISE2010



マレーシア河川フォーラム



水のイノベーション会議



パブリックフォーラム



水の持続性国際シンポジウム



台中市・河川再生シンポジウム

【3】受賞歴

- ・2018年度：平成30年度河川基金優秀成果表彰
- ・2017年度：第20回日本水大賞「国際貢献賞」
- ・2017年度：平成29年度河川基金優秀成果表彰
- ・2016年度：平成28年度河川基金優秀成果表彰



なお、本特集で紹介した刊行物や行事報告書類は以下のページよりダウンロードできます。

<https://www.rfc.or.jp/jrrn.html>



日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN) 事務局

〒104-0033 東京都中央区新川1丁目17番24号 NMF 茅場町ビル7階 (公財) リバーフロント研究所 内

Tel:03-6228-3861 Fax:03-3523-0640 E-mail: info@a-rr.net

URL: <http://www.a-rr.net/jp/> Facebook: <https://www.facebook.com/JapanRRN>